

松阪製作所に新研修センター「松阪志高館」がオープン

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 社長兼 COO：松井徹）は、松阪製作所（三重県松阪市）に新たな研修センター「松阪志高館」を開設しましたので、お知らせいたします。



除幕式に臨む出席者



オープンした松阪志高館

当社グループは、「人・社会・地球の安全・安心・快適に貢献する企業」、すなわち“Global Excellent Manufacturing Company”への飛躍を目指し、全世界で事業を展開。国内外で拠点の拡充や整備を進めた結果、当社グループの事業基盤は現在、世界 23 ヶ国 105 拠点に広がっており、グローバルに活躍できる多種多様な人材の育成が急務となっています。

松阪志高館は、自動車用ホースの生産拠点である松阪製作所内に設立。当社の今後の成長を支える人材のスキルアップを図ろうと、40 年間にわたり一度も途切れることなく続いている人材育成プログラム「F 研（フォアマン研修）」を実施する F 研究室を 1 階に、各種教育研修を行う部屋を 2 階にそれぞれ設置しました。

17 日（金）にはオープニングセレモニーとして、松阪市の関係者や地域の皆様に招いて除幕式を開催しました。松阪市より、竹上真人市長からのメッセージとして「社員皆様が志を高く持ち、様々な分野でご活躍され、未来を切り拓いていく優れた人材教育・育成の場となることをご期待申し上げます」とご紹介いただいた後、当社常務執行役員の花崎雅彦が「新たな中期経営ビジョンの達成には人材育成が急務。松阪志高館を、常に学び自己成長する風土づくりの象徴としたい」とあいさつ、出席者らで玄関の看板の除幕を行いました。

当社グループは、2013 年 3 月に岐阜県各務原市に研修センター「^{うぬまさんがくかん}鵜沼三学館」を開設し、毎年国内外の拠点幹部を集めた「Global Management Meeting（GMM）」を開催しているほか、新入社員向けや階層別の教育研修プログラムを実施しています。当社グループは「人材育成にまさる事業戦略はなし」との考えに基づき、この松阪志高館でも各種階層別教育に取り組むとともに、自動車用ゴムホース事業のマザー拠点であるこの松阪製作所から、海外拠点との積極的な交流などを推進してまいります。

<松阪製作所の概要>

所在地 : 三重県松阪市鎌田町 1001 番地
従業員数 : 583 人 (2016 年 5 月現在)
工場面積 : 敷地 71,745 m²、建屋 32,908 m²
製造品目 : 自動車用ホース

<松阪志高館の概要>

面積 : 敷地面積 90 m²、延床面積 146 m² (地上 2 階建て)
施設内容 : 1 階 (74 m²) : F 研究室、2 階 (72 m²) : 教育研修用ルーム (定員 24 名) など
総工費 : 5,000 万円
着工 : 2015 年 8 月

<「松阪志高館」の名称の由来>

伊勢国松坂 (三重県松阪市) 出身で 18 世紀に活躍した国学者・本居宣長 (1730-1801) が著した国学の入門書「うひ山ぶみ」の一節「志しを高く大きに立ててつとめ学ぶべき」(大きな夢を持ち、目標を立てて学ぶことが大切) に由来。この一節から引用して「松阪志高館」と名付けました。

以 上